



犬・笑・暮だより vol.59

愛犬のお手入れ② ～耳と歯磨き～



さて、お手入れシリーズ2回目の今回は、耳の中のメンテナンスと歯磨きです。

耳

立ち耳と垂れ耳では汚れ具合が全然違います。どちらが汚れやすいかと言うと、圧倒的に垂れ耳です。

立ち耳は埃などが入って汚れそうな気がしますが、垂れ耳の方が頻繁に見てあげる必要があります。

垂れ耳は、風通しが悪く湿めりがちなので、カビが繁殖してしまったり、耳ダニなどの寄生虫にとっても住みやすい環境なので、トラブルを起こしやすいのです。

耳のお手入れと言っても、毎日そっと綿棒で拭う程度。この時、消毒液が洗浄液などで少し綿棒の先を濡らした方が、皮膚に優しく、傷つけてしまう危険性が少なくなります。耳の内側は特にデリケートで傷つきやすいので、奥まで拭きすぎたり、強く擦り過ぎたりしないように、そっと見える範囲だけ拭いてあげましょう。

また、奥の方が汚れていたり、耳にチョコレートのような色で粘りのある汚れが付いていたり、耳の中の匂いが臭い時はお手入れでは解決しないこともあるので、すぐに獣医さんに相談しましょう。

歯磨き

歯が健康だと体も健康でいられるのは犬も人間も同じです。愛犬に健康で長生きをしてもらうためには、飼い主さんが愛犬の歯の健康を守るのが大切です。犬は口腔内がアルカリ性なので虫歯になりにくいのですが、歯周病にはかかりやすいので注意が必要です。現在では、3歳以上の成犬は80%が歯周病をもっているとも言われています。

歯周病の原因は歯石です。歯石のついた歯には歯茎との間に歯周ポケットが出来てしまい、そこに歯周病菌が繁殖すると、歯周病になります。歯周病になってしまうと、歯がぐらついてよく噛めなくなったり、歯を抜かなくてはならなくなってしまうこともありますし、そのまま放っておくと菌が体にまわり、全身的な問題に発展してしまうことにもつながります。

いったん歯石が付いてしまうと、除去するのが困難ですから、歯石を付けないようにすることが大切です。そのためには、歯垢の状態の時に綺麗に除去するのが簡単。歯垢が歯石になるのには、わずか3日間しかかかりません。ガーゼで拭いたりするのでもいいのですが、できれば歯ブラシが上手にできるよう、少しずつ何度も練習してあげましょう。

もちろん、成犬になってからでも可能ですが、小さいころから練習した方が抵抗なくやってもらえるようになります。なるべく毎日、歯ブラシをしてあげましょう。

この時、怖い顔をして歯ブラシを持って近づいていくと、ワンちゃんも緊張しますし、苦手になってしまうので、できれば楽しそうに笑顔でコミュニケーションタイムとして、誘ってあげ



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>

